

第94回 火力専門委員会 構造分科会 議事録

- I. 日 時：2017年2月6日（月）11時00分～17時30分
II. 場 所：日本機械学会 第3,4会議室
III. 出席者：飯田(東電FP)、西野（配管技術研究協会）、西田(MHPS 長崎)、妹尾(関電)、
大橋（IHI）、豊嶋(MHPS 呉)、黒川（川崎重工）、野呂（富士電機）、
田村(MHPS 日立)、太原（東芝）

代理者：なし

オブザーバー：なし

欠席者：高野(中電)

事務局：原

IV. 配布資料

- 94-1 第93回構造分科会議事録（案）
- 94-2 構造分科会委員名簿
- 94-3 第78回火力専門委員会議事録（案）
- 94-4 第80回発電用設備規格委員会議事録案（案）
- 94-5 発電用火力設備規格 誤記対応方針
- 94-6 「火STPA28系鋼の許容値等の見直し結果」に関する技術的妥当性の検討依頼に
対する回答（表紙のみ）
- 94-7 用語集
- 94-8-1 レビュー票（東芝）
- 94-9-1 レビュー票（MHPS 長崎、ダブルチェック結果反映）
- 94-9-2 レビュー票（MHPS 呉、ダブルチェック結果反映）
- 94-9-3 レビュー票（東電FP、ダブルチェック結果反映）
- 94-9-4 レビュー票（関電、ダブルチェック結果反映）
- 94-9-5 レビュー票（IHI、ダブルチェック結果反映）
- 94-9-6 レビュー票（KHI、ダブルチェック結果反映）
- 94-10 審議履歴表

V. 議題

1. 前回議事録確認 [資料 92-1]
前回議事録（案）の確認を行ない、議事録案は承認された。
2. 分科会委員・役員の承認 [資料 92-2]
退任委員、新任委員候補、再任委員候補はなし。
3. 報告事項 [資料 94-3]
 - (1)火力専門委員会報告
11月16日開催の第78回火力専門委員会の主要項目が報告された。

- 火力専門委員会委員、各分科会委員の承認。
- 第92回(10/13)、第93回(11/9)構造分科会報告
 - ・B31.1 材料のグループ番号の記載について
 - ・3分科会共通の用語集の運用について
 - ・ダブルチェック結果を反映したレビュー票審議状況の報告
- 審議結果報告
 - ・火力関係規格の誤記対応方針に係る審議
 - ・火原協の「火力設備技術基準解説改訂事業部会」への委員派遣

(2)規格委員会報告 [資料 94-4]

- 12月9日開催の第80回発電用設備規格委員会の主要項目が報告された。
- ・火力専門委員会(11/16開催)報告。

(3)発電用火力設備規格 誤記対応方針 [資料 94-5]

- 11月16日の火力専門委員会において決定した誤記対応方針が、資料に基づき紹介された。今後の改訂においては、変更箇所一覧を作成する。

(4)「火 STPA28 系鋼の許容値等の見直し結果」に関する技術的妥当性

の検討依頼に対する正式回答受領報告 [資料 94-6]

- 検討依頼に対する報告書を11月28日に正式に受領したことが報告された。報告書一式は、今回の会議資料の映写のみのフォルダに保存。

4. 審議事項

(1)用語集の確認

3分科会共通の用語集について、新たな追記・変更箇所の確認を行った。今後も、各委員が追記・修正すべき用語について赤字で記載し、次回の分科会で確認する。分科会で審議後、黒字に変更する。今回の新たな追記・変更箇所が適切であることが確認された。

(2)レビュー票審議 (MHPS 長崎、ダブルチェック結果反映)

Ⅲ章序文、PHRSG、PW [94-9-1,9-1-2]

西田委員からダブルチェックを反映したレビュー票について説明があり、審議を行った。

○PW-27.5

- ・UNS N06230 の材料にはⅡ章の許容応力表に取り入れられているものがあるので、必要性を考え、必要ならば取り入れる。

○PW-28.7

- ・フラッシュ溶接はPW-27.1 で使用を認められており、取り入れないとした経緯を再確認して、取り入れ要否を検討する。

○PW-28.1.3

- ・「参照」は、削除する。

○PW-28.6

- ・曲げ試験の試験を取るなどして、bend と torque の両方が stud weld testing にかか

ることを明確にする。

- (3) レビュー票審議 (MHPS 呉、ダブルチェック結果反映) V章 101,102 [94-9-2]
豊嶋委員から、コメントを反映したダブルチェック結果反映のレビュー票について説明があり、本修正案で良いことを確認した。

- (4) レビュー票審議 (東電 FP、ダブルチェック結果反映)
Ⅲ章 PW、APPIV、Ⅳ章 UW、APP-A,C,D,E,F,G,K,32,42 [94-9-3]
飯田委員からダブルチェックを反映したレビュー票について説明があり、審議を行った。
- UW-12(e)
 - ・ welded の訳が溶接製、溶接式と2通りに使われているので、溶接製に統一および用語集への反映について検討する。
 - APP-A-5~~(a)~~
 - ・ A-5 も含めて削除する。
 - APP-E-5
 - ・ should は、用語集にしたがい、「～した方がよい(勧告)」へ見直す。
 - APP-42-8
 - ・ proof test を用語集では「検定水圧試験」としている。実証試験でよいか確認する。

- (5) レビュー票審議 (東芝) Ⅳ章 UG-125~140 [94-8-1]
太原委員からコメントを反映したレビュー票の説明があり、審議を行った。
- UG-127(a)(2)(b)、UG-127(b)(1)他
 - marked は、「表示された」が適切と思われるので、見直しを検討する。
 - UG-127(b)(2)
 - pin devices …… ピン式逃し弁 → ピン式逃し装置
 - UG-129(d)
 - 「要求事項を満足する」は不要と思われるので、文章を見直す。
 - UG-129(e)
 - holder が、ホルダーと保持部と2通りあるので、用語の統一を検討する。
 - UG-131(f)
 - ・ 「ASME PTC25」、「公認の認定立会人」……国内の試験に適用して問題無いか、困らないか確認する。
 - UG-131(h)
 - ・ ゲージ圧力と絶対圧力の両方があるので、間違えないようにゲージ圧力、絶対圧力が分かるように明示する。
 - UG-131(n)(2)
 - rupture disks 破裂板装置 → 破裂板

- (6) レビュー票審議 (関西電力、ダブルチェック結果反映)
Ⅲ章 PG、APP B、Ⅳ章 UG [94-9-4]
妹尾委員からレビュー票(ダブルチェック結果確認におけるコメントの反映)について説明

があった。

○Ⅲ章 APP B B-9(k)

・50.8mm hard conversion を採用して、50mm とする。

○UG-101(d)(2)(a)

・増加分に → 増加分で などに見直しを検討する。

(7) レビュー票審議（I H I、ダブルチェック結果反映）

Ⅲ章 PG、Ⅳ章 UG、APP1,2,3、Ⅴ章 104

[94-9-5,5-2]

大橋委員からレビュー票（ダブルチェック結果確認におけるコメントの反映）について説明があり、審議を行った。

○104.1.2(B)

ダクティル鋳製 → ダクティル鉄製

○PG-35.4 ステーに関する規定は JSME に取り入れていないため、取り入れ要否について検討する。（分科会時、後で確認して連絡するとしていたコメント。2/8 追記）

(8) レビュー票審議（K H I、ダブルチェック結果反映）

Ⅲ章 PG、Ⅳ章 UG

[94-9-6]

黒川委員から、コメントを反映したダブルチェック結果反映のレビュー票について説明があり、本修正案で良いことを確認した。

(9) ダブルチェックの今後の進め方

ダブルチェックの進め方は次のとおりとする。

- ① 今後は、(ダブル)チェックの結果を反映したレビュー票は、担当者がチェック者へ直接メールする。（三役と事務局をメールの CC.に入れること）
- ② 担当者とチェック者がメールにてやり取りを行い、チェック結果を反映したレビュー票に関して双方が合意した場合は、ダブルチェックの結果反映の完了（以下、ダブルチェックの反映完了）とする。
- ③ a. 担当者とチェック者で意見の合わないもの。 b. 結論をどうするか悩むもの。 c. その他分科会で審議した方がよいと判断したもの。は、次回分科会で審議する。
- ④ ダブルチェックの反映完了は、3 月中に終了することを目途に作業を進める。（8 月後半に開催される火力専門委員会に改訂提案できるよう。）
- ⑤ 担当者とチェック者のメールでのやり取りは、進捗状況を情報共有できるよう分科会三役と事務局を CC.に入れる。

5. 次回開催予定

日 時：4 月 25 日（火）13 時 30 分～17 時（分科会後、2/7 に各委員の都合を確認して決定）

場 所：日本機械学会 第 3・4 会議室

以 上